

体を動かす遊び中の 事故事例と対策

幼児を遊びの事故から守るために

子供が安全に楽しく遊べるように、気を付けていますか？

幼児期に遊びを通して体を動かすことはとても大切なことです。遊びの中で状況に応じて機敏に体を動かし、危険を回避できるようにすること（安全についての構えを身に付ける）が大切です。しかし、子供が活発に動くと、転んだり、人や物にぶつかったり、高い所から落ちたりと危険なことが増え、時には、思いも寄らない事故につながることもあります。

保育施設では、子供が楽しく体を動かして遊べるように保育者が常に安全を心がけ、子供の生命を守ることに努めることが肝心です。事故防止の対策はもちろん、小さな事故を大きな事故にしないためにも、日頃から安全対策や対処方法をお互いに共有することも重要です。

保育施設での事故に対する災害共済給付件数は、2008年度から2013年度の6年間に、全国で死亡見舞金の支給57件、障害見舞金の支給133件、医療費の支給391,529件ありました。この中で体を動かす遊び中に起きた事故事例として多いのは、すべり台、鬼ごっこ、鉄棒、雲梯などです。

しかし、危険だからといって体を動かす遊びの活動を制限してしまうことは望ましくありません。事故防止の対策や安全管理を十分に行い、子供が安全に楽しく遊べるようにすることが保育施設の役割として一番大切なことです。

次に紹介する事故事例と対策を参考に、安全で楽しい体を動かす遊びを心がけましょう。

【参考】

- 学校安全参考資料「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（文部科学省）
http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1289310.htm
- 学校施設における事故防止の留意点について（文部科学省）
<http://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/jikoboushizentai.pdf>
- プールの安全標準指針（文部科学省・国土交通省）
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/boushi/1306538.htm
- 学校の管理下の災害（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school//tabid/1744/Default.aspx
- 消費者安全法第23条第1項に基づく事故等原因調査報告書（消費者安全調査委員会）
<http://www.caa.go.jp/csic/action/index5.html>
- 都市公園における遊具の安全確保に関する指針（国土交通省）
http://www.mlit.go.jp/crd/park/shisaku/ko_shisaku/kobetsu/youguu.html
- JRC（日本版）ガイドライン 2010 一次救命措置（BLS）（一般財団法人日本救急医療財団）
http://www.qqzaidan.jp/jrc2010_kakutei.html